

## 安来高校植物図鑑（2022年6月）

### 和名: シラン（紫蘭）

野生の蘭の仲間です。背の高さが50cmくらいあるでしょうか。安来高校では古い花壇のようなところに生えているので、おそらくかなり前に誰かが植えたものではないかと推察します。今ではほぼ野生化して、毎年見事な紫色の花を咲かせてくれます。日当たりが良いけれども湿っているところに生えることが多いそうです。下の



花卉にひだがあり、その模様がお見事です(左写真)。土の中には偽球茎という球根のようなものがあるのですが、粘性が高いことから、七宝細工の糊として使われているのだそうです。



### 和名: ヘビイチゴ（蛇莓）

先月、オヘビイチゴを紹介したら、今度はその名前の由来になったヘビイチゴを見つけました！花の真ん中が赤いことから、イチゴの実ができそうな雰囲気漂わせています。葉の形もイチゴっぽいです(右写真)。しかしこのイチゴは、人間が食べると味気がなく、美味しくないそうです。だからヘビが食べるイチゴである、という名前がついているのですが、実際はヘビも食べないらしい。じゃあ誰が食べるのでしょうか？この花は中庭で見つけたのですが、草刈りをされましたので、熟したイチゴを見ることは出来なさそうです。どこか他の場所にも咲いていないかな。



### 和名: ヤエムグラ（八重葎）

かなり前にこの花の名前を聞いたとき、百人一首の「八重葎 茂れる宿の さびしきに 人こそ見えね 秋は来にけり」という和歌を思い出し、勝手に秋の花だと勘違いしていました。教養がないというのはこういうことだと思いました。実際は春から初夏の花です。この場合の「葎」とは雑草のことであり、「八重葎」はたくさんの雑草という意味だそうです。さて、本物のヤエムグラはとても花が小さく、1mm程度しかありません。写真に撮りにくい！そしてその後、球形でトゲトゲの生えた実ができます。植物体全体に小さい毛が生えていて、他の草にからみついて上へ上へ伸びていく印象です。他の草が無い場合は、自分たちどうしでからみ合って伸びていくそうです。たくましいですね。



先日、安来高校のホームページでサクランボが紹介されていました。私は木にぶら下がっていたサクランボの写真を撮っていましたので、載せておきます。見た目が美味しそうで鳥が食べに来るのがわかるような気がします。安来高校は本当に植物がたくさんあり、桜はソメイヨシノはもちろん、八重桜もあります。毎年春になるとその美しさに見惚れてしまいます。